

近年、問題になっている子どもの貧困に着目し、「子どもの貧困」の認識を広める手段の一つとして、学習支援施設に通う子供達を招いて、勉強の楽しさを知ってもらうイベントを企画しました。

日時：2015年11月28日（土）

場所：学内

参加者：小中学生21名

学生スタッフ：5名

地域創りリーダー養成プログラムのD班です！

11月28日に私たちは「生き物の不思議を知ろう」というイベントを開催しました！

このイベントは中学生の子どもたちに勉強の楽しさを知ってもらうことを目的としました。

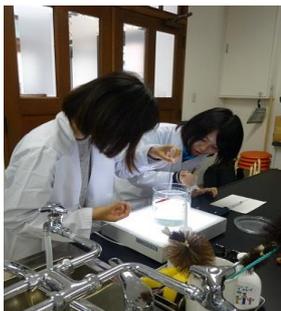
今回、参加した子どもたちは、NPO法人が運営している学習支援教室に通う子どもたちです。

私たちはイベント当日までの約4ヶ月間、週1回程度子どもたちと仲良くなるためにボランティアの先生として教室に通ってきたので、子供達とは顔なじみの仲となっていました。

イベント当日、子どもたちは最初緊張した様子でしたが、授業がすすむうちにいつもの子供達に戻りました。



午前中は生物学の授業で、その中でもミジンコについての授業を行いました。まずミジンコの観察を行い、ミジンコの生態クイズ、そしてミジンコのペーパークラフト作りを行いました。



みんな積極的にクイズに参加したり、顕微鏡をのぞいたり、ミジンコのペーパークラフトを作ったりと、細かい作業も多かったのですが時間を忘れて一生懸命行ってくれました。

お昼ごはんをみんなで楽しく食べた後は午後の授業に入りました。午後からは大学生ならではの専門的な心理学の授業を行いました。グループにわかれて表情当てクイズやパーソナルスペースを測る実験、心理学についての講義をしました。



子どもたちにとって初めて学ぶことばかりだったと思いますが、みんな興味津々な様子で聞いてくれました。

最後に、1日がばって授業を受けてくれた証として修了証書を全員に渡しました。みんな少し照れた様子でしたが受け取ってくれました。

授業後、子どもたちにアンケートを書いてもらうと「楽しく学べた」「ミジンコかわいかった」「私が知っている心理とは少し違った」などの感想を書いてくれました！私たちの目的は学習支援施設に通う子ども達に勉強の楽しさを知ってもらうことだったので、これをもとにさらに勉強に対する意欲を高めてもらえるとうれしいです。

イベントは終わりましたが、今後も子どもたちに会いに教室へ行き、学習のお手伝いを続けていく予定です。

